

「1-1 子育て支援の充実」に関する委員意見・市の取組状況等

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
<p>全ての保護者が自分から相談に行けるわけではなく、支援が届きにくい人もいるということを認識した上で、アウトリーチ型の支援のあり方について考える必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状・課題に記載しました。 ・自ら相談支援に結びつく方ばかりではないという認識のもと、訪問による相談支援も実施しています。 	
<p>待機児童問題がある中、保育人材の確保に取り組むことが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状・課題に記載しました。 ・保育人材バンクの設置や就職相談会の開催、保育料補助等々の取組を行っていますが、非正規職員で不足分を補うやり方では限界となっています。財政面の調整は必要ですが、正規職員の配置を検討していく必要があると考えています。 	
<p>保育園の待機児童問題や、子育てについて保護者が相談できる場の不足等の問題が児童虐待の要因となりうる。話を聞くだけでもスッキリされるので、話を聞く場を作ることが重要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状・課題及び取組に記載しました。 ・待機児童への対策として、施設の整備による定員増加や上記の保育人材の確保に取り組む予定です。 ・子育てについての相談は、担当課をはじめ、子育て支援コンシェルジュや、市内3か所の子育て支援センターなど相談場所を複数設置しています。 ・支援が必要な家庭には定期的な訪問を実施しています。 	
<p>児童虐待を減らさなければならない。そのためには保護者が家の外に出る機会を設けることが必要であり、出るためのきっかけづくりが重要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状・課題及び取組に記載しました。 ・市内3か所の子育て支援センターの設置、育児サロンの開催、園庭開放や学区毎の子育て支援事業の開催等、様々な外出機会や場を設置しています。 ・外に出にくい方もおられるため、訪問型での相談支援も実施しています。 	
<p>何か起こってから対処するという事業が多いが、そうならないための施策も必要である。地域の高齢者サロンのように、地域住民、子ども、保護者が集まって交流し、話できる場を設けることで解決できる問題もあるのではないかと。各自治会でそのような場を設けることも検討してどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状・課題及び取組に記載しました。 ・学区単位、自治会単位、地域を限定しないサークル活動等、地域の実情に応じて様々な活動がされています。 ・情報は子育てガイドブックに集約し、発信しています。 	
<p>地域のサークルの情報交換等、地域ごとの到達度を見ながら、予防的な視点で取り組んでいくことが必要である。</p>		

（審議会にてご意見をお願いします。）